

第36回「みんなの集い」まとめの発表ボイス記録

司会：それでは、Aグループの方からよろしくおねがいします。

- **Aグループは、「住みやすい地域」**ということで、出てきた意見を発表します。
 - ・まず、小さくていいので、コミュニティーバスがほしい。ということと、フェリー（高速艇）の船賃が高い。例えば、住民の方には、マイナンバーを使って割引をすとか、今の島民の方には、20枚チケットが配られているそうですが、こちらを24枚、月に2枚の計算で配っていただけたらいいんじゃないかという意見も出ました。
 - ・あと、働く場所が少ないので、働く場所がほしいという意見が出たのですが、地元の求人も結構あるそうなんです、知らない方がたぶん多いと思うので、求人をもっと皆さんに分かりやすく提供したらどうかという意見も出ました。
 - ・あと、スーパーなど買い物をする場所も少ないので、そちらをできれば造っていただきたいです。
 - ・あと、子どもの遊び場も少ないので、あと、公共施設の活用、山海小学校とか日間賀中学校とか空いている施設を活用して、何か次につながるような事につながってほしいと思います。
 - ・あと、コミュニティーを大事にしたいということで、避難訓練とか地域の行事に参加して近所の方とのコミュニケーションをとって皆さんと地域ぐるみで行動していきたいなという話が出ました。以上です。

司会：続きまして、Bグループの方、お願いします。

- **Bグループは、「地域の実情を知らせよう」**ということで話し合いをしました。
 - ・赤ペンで書かせていただいた交通とか、老後、買い物、災害、子育てといろいろな意見が出ました。
 - ・その中で、昨年こういうことが町へ報告しました、ということの中でありました。交通の中で、バスの便が少ないとか、あと、買い物の方では、移動販売があるといいという意見。
 - ・それから、子育ての方では、放課後児童クラブさんの増員というのがあったんですけど、放課後デイサービスが現在、満員でなかなか入れないんでそちらの福祉の方のデイサービスさんを社協さんがしてくださるといいなとか、あと、ファミリーサポートさんの話もあったんですけど、ファミリーサポートさんで1回無料券を出したりとか、あと、町から助成を半額とかしていただけるといいな、ということがありました。
 - ・あと、支援センターというのもありまして、9時から16時は開いてるんですけど、16時以降に居場所があまりないかなという意見がありました。
 - ・結構、Aグループさんと出た同じ内容とかがいっぱいありまして、最後、解決策としましては、企業誘致をしまして、そうすると人口も増えますし、その中に子育て世代も入りますし、それに伴ってみなさん生活されるんで、バスとかお店、働く場所も増えて、いいのではないかと、で、役場のホームページの方に企業誘致というのを載せていただけるといいんじゃないでしょうかということでした。ありがとうございます。

司会：続きまして、Cグループの方、お願いします。

Cグループ：「地域の活かし方・地域の未来」

- Cグループです。Cグループでは、地域の現状、困りごとや強みがたくさん出ました。
 - ・しかし、この南知多町を選んで野菜作りやお店を営業してくださっている方々もおられます。そういった方々にもこの会に参加していただき、一緒におしゃべりすることで、道が開けるといった意見が出ました。具体的に出た内容は、次の方をお願いします。
- Cグループで話した大きい要点なんですけれども、まず、交通のこと、自然を生かすことと、あと、これを商業化していくことになるんですけれども、
 - ・まず、交通については、島の方からお話しすると、島の方、土曜日しか病院にお迎えが来ないと、平日は、自分たちで送らなければいけないと、そういった不便があるので、半島部と島でのそういう不便を埋めるための交通の手配ですとか、あと、高いというのがありまして、もうちょっと安くできないかな、というのがありました。
 - ・それと、バスですね、岩屋寺方面ですとか、(路線が)なくなってしまった豊浜も親が仕事をやめて河和まで送っているというのを聞いたことがあるので、せめてバスを小型化して、回数を増やせないかという意見がありました。
 - ・続いて、自然に関することなんですけど、自然が豊かで、観光、海の幸、山の幸、いろいろな物があるんですけども、これが活用できていないんじゃないかという、とつても豊かで、ここが好きで、私と家族は外から入ってきたんですけども、遊ぶところもないなあ、整備されたところがないなと思っていたので、それをどうやって活用するかというところですね、ただ実際活用されてないというのは、商業的にビジネスにならないからだ、という考えでじゃあどうしたらいいかということを話し合いました。
 - ・まず、JAさんのお店がなくなっちゃって食品ですとか、手に入らなくなった。チェーン店とかで手軽に手に入れるものじゃなくて、地元で作られた野菜ですとか、海産品ですとか、そういったものが食べたいと、でもそういったものがどんどんなくなっていくとなったときに、自然、観光を生かすという観点から、町が主体で、「道の駅」でみたいな、販売できるような施設を造って産品を販売したり、もちろんこれは、地域の人もそとの人も需要が高いものですし、そこで、商業の内容として、樹木相？とかそういったアイデアも出たんですが、アイデアを持った人たちがテナントみたいにしていって、できるスペースも設けられるんじゃないかと思いました。そのためには、町の職員だけじゃうまく回らないと思うので、岡崎の方に「岡ビズ」という団体があるんですけども、そういった起業家たちをマネジメントするような組織、仕事にできる、お金にできる人たちを町で入れれば、そういう人たちにお金をかけるだけで、新しい施設を造るということにこだわらず、空き家を使ったり、大きい空いてしまった施設を使ったりっていうのもできるんじゃないかと思いました。
 - ・で、災害に対する、いざというときに何ができるかというところなんですけど、町長さんがお話しされていた、耐震化率が70%だということで、耐震化するにはお金がかかる、だから、せめて家の中で一部でも安全な所を造れないか、皆さんで努力して一人ひとりが守る術を考える。のと、皆さんが、避難経路を把握すること。他のグループでも出たんですが、把握すると言っても出先だと分からん、なので、大きい看板「こちらに逃げるべきだ」逃げてください、高台はいっぱいあるので、そちらに逃げると

ということと、高台には自由転居というのがあるんですけど、1割の人が、津波の被害意を受けてしまうのではというデータがあるので、100人集まれば、国への補助金依頼とかそういったものへもつながるので、有志でいいので、たくさんの方が集まって考える機会ができないか。で、それが、若い人だといいな、年配の方々だと心はあっても、体が動かなかつたりもするので、走って逃げられるか試してみよう、実際志が高い若い人が必要ないじゃないかというところで、若い人につなげられるように広報できないか、ここで、広報の部分になるのですが、アパートの人たちって広報って回ってないんですね、実は、回ってない方が結構あって相談されるんですけど、そういったところにも避難のことだとかも、知らされるべきだと思うので、学生さんも含めて広報が行きわたるように考えていただきたいと思います。以上です。

司会：ありがとうございます。それぞれのグループの皆さん、短い時間にかかわらず分かりやすく報告をしていただきまして、本当にありがとうございます。

今の発表を聞きまして、何かご質問やご意見がおありの方みえましたら、どうぞ挙手にて、お気軽にお願いいたします。はい、では。

- 私は子育て世代なんですが、保育所を役場に造ったらどうかという意見が出たので、もし集約されるんだったら、2つぐらい残して、役場にも1つぐらい造ったらと思います。以上です。
- 後半の方で、防災の話が出たんですが、各地域によってもあるいは、団体によって防災への取り組みが違うんだなと感じました。そこで、せっかく町の方もいらっしゃると思うので、例えば防災会議、今までコロナでなかなかみんなでいろいろなことが共有できなかったもので、ぜひ、次の防災会議で、どんなことができるのかとか、(能登半島での)地震のことがあり、皆さん関心が高いと思います。ぜひPRをしていただきたいと思いました。こんなに女性のリーダーの方がたくさんいらっしゃるので、町の方、お願いいたします。
- いろいろマイナーな意見は出たんですけど、淋しいとか買い物不便とか出たんですけど、地元のいいところ、すごく景色、眺めが素晴らしい、みんな結構知らないみたい。地元の人も実は、知らなかったりするんですけど、鳶が先の河津桜の聖崎公園とか、羽豆岬とか、地元なのに知らないことが多いから、そういった紹介ができるといいんじゃないかなと思いました。以上です。
- Aグループの発表で、A-2班が発表できてなかったもので、発表させていただきたいと思います。「住みやすい地域」について話をしました。
 - ・皆さん共通していたのが、孤立しない・孤立させないという地域だなというところで、自分と違う世代同士とのつながりが薄いよね、どういう方がいるのか分からないよね、バラバラだよよねというところで、
 - ・じゃあ、子育て世代の人へはどう応援していったらいいのかというところで、南知多

は、自営業者の方であったり専業主婦の方であったり子育てを頑張ってみえる。この応援をすることが、地域の産業への応援にもつながるだろう。というところで、他のグループでもあったんですが、一時保育やファミリーサポートを例えば子どもが生まれたときに1回無料で体験できるよ、2回無料で経験できるよというような無料券の配布をしてはどうだろうか。という意見が出ました。

- 地域で孤立しない孤立させない、独居の方や高齢の方はどうなるのという意見が出ました。お墓参りやサロンだったりへは、元気に出かけていらっしやるけれども、やっぱり地域の方、お知り合いを一人誘う、声をかけていく、声をあげていくといくことが大事だろうなという意見が出ました。
- 地域の中で、意見を言っていくということが本当は大事なことだったんだなということが、こういう場に出てきて、意見を言うというのは恥ずかしかったけれどもすごく大事なんだなということが分かりました。ていうように言っていた方がいらっしやいました。やっぱり、意見を言えるんだとか、困ったときに声をあげていいんだって思えるような空気づくりを地域の中でつくっていくことが防災につながっていくんじゃないかということで、話がまとまりました。
- で、加えて住みやすい地域というところで、インフラの部分で意見がいくつかありました。島の方からは、やっぱり、島の中で生きてるとその生活が当たり前だから、何が生きやすいとか住みやすいとかは、ちょっと分からない、とおっしゃっていました。が、それでも船の時間を中心とした生活の組み立て方をしています。私たちは慣れてるけども、若い人にとっては、それが住みづらさなのかな、と言っていましたし、船の時間で、特に遅い時間のところでもう少し船を増えたらいいなという話がありました。
- プラス、内海駅、インフラの要は内海駅であろうというところで、やっぱり駅が元気がなくなるのは、すごく淋しい。テナントが入りやすくできないだろうか。内海はサービスセンターがなくなるということがありますので、サービスセンターの機能だけ今図書館のある高台のところに機能を移すという計画がありますけれど、あの高いところまでもっていくのは大変なので、内海駅の高架下のテナントにサービスセンターの機能が移らないだろうか、という意見もありました。
- やっぱり自家用車ありきの生活を皆さんがされているということですが、いつか乗れなくなったらどうだろうか、という意見があります。
- 先ほどの困ったと時に声をあげられる空気づくりていうのが、やっぱり防災では、大事だろう。立場の弱い人たちの声をどうやって拾ってあげればいいのかというところで、より具体的に想定した避難、訓練ができていないというのが、意見として多くありました。
- プラス、何を備えたらいいのかというところの情報共有もできていない。イベントに行くといろいろ防災グッズを配られるんだけどそう言うところに行かれない方、例えば、インスタントやアルファ米を食べたことのない方もいます。例えば地域の町のもの海のもので防災の食べ物、缶詰だとかは作れないのか、産業化できないだろうか、という意見もありました。これがAの2班の発表になります。

司会：先ほど、防災関係のご質問が出ましたが、防災に詳しい社会教育課のMさんからお話をさせていただきます。よろしくお願いします。

◎ 僕は、去年まで4年間役場の防災におりまして、役場に入ったのも、防災対策のことをやりたいから役場に入らせていただきました。で、ちょうど、町長から命をいただいて、先週、志賀町（しかまち）の方に派遣に行ってきた者でございます。現地を見てきたんですが、被災者の方といっぱいしゃべってきました。まずトイレに困ったよとか、食料がなかった、避難場所を確認してなかったから、被災時にちゃんとした動きができなかったと後悔しておられました。なので、僕から防災のPRとして、2つのことを今日は考えてもらいたいと思います。

- ・ 1つ目は、ハザードマップの確認でございます。役場のホームページにですね、南知多町ハザードマップで検索をすると土砂災害だとか津波避難のハザードマップが出てきますので、ご自宅がどれくらい津波が来るかとか、そういったのが全部わかりますので、まずはそれを把握するようにお願いします。
- ・ もう1つは、備蓄です。食料は、1日3食、7日分です。水は1日3リットルです。1人当たり21リットル必ず備蓄してください。トイレについても1日5回行く想定なので、携帯トイレですね、今百均でも売っています。携帯トイレを7日分35回分を備蓄するように心がけるようにお願いします。食料についてもカインズホームとかに、防災コーナーにありますので、そちらを見ていただけたらなと思います。以上です。

司会：ありがとうございました。